

鳥 扱 い 注 意 。



中国、インドネシア、カンボジア、バングラデシュ、エジプトなどでは、
最近も鳥インフルエンザ患者が発生しています。

特にアジアやアフリカ、中東に旅行されるみなさま、
現地でニワトリやアヒルなどを飼育している場所、
鳥が売買されている市場に近づかないでください。

鳥の死骸やフンには絶対にさわらないでください。

帰国時に具合が悪い方や、現地で鳥の死骸などに
触ったと思われる方は、検疫所の担当官にご相談ください。

また、帰国後、10日以内に具合が悪くなった場合には、
医療機関を受診し、「鳥インフルエンザの発生地域に渡航していた」ことを伝えてください。

ご不明な点は、最寄りの保健所にご相談ください。



in Foreign Countries

海外では、動物と距離をとろう。
Please Keep Your Distance.



夏休み 感染症

検索

夏休み期間中の海外感染症予防について、くわしくはこちらへ⇒
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel/2013summer.html



蚊 意外にキケンあり。



マラリア、デング熱、チクングニア熱といった、蚊が媒介する感染症が、世界中の熱帯・亜熱帯地域で流行しているのをご存じでしょうか。

「蚊にさされた程度で」とあなどるなかれ、

場合によっては命にかかわる病気にかかることも。

海外の蚊は意外にキケンがいっぱいなのです。

熱帯・亜熱帯地域へ旅行されるみなさま、現地では長そでと長ズボンの服を着たり、

虫よけスプレーや蚊取り線香を使ったりして、蚊にさされないよう十分にご注意ください。

現地で蚊にさされて熱が出た場合は、早急に医療機関を受診しましょう。

帰国時に発熱などがある場合には、検疫所の担当官に

ご相談ください。



in Foreign Countries

海外では、動物と距離をとろう。

Please Keep Your Distance.



夏休み 感染症

検索

夏休み期間中の海外感染症予防について、くわしくはこちらへ⇒
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel/2013summer.html



動物とは 離し上手に。



さまざまな国で、さまざまな動物から狂犬病に感染するキケンがあります。海外では、動物と距離をおきましょう。

狂犬病は、日本ではあまりなじみがありませんが、海外では今なお、先進国でも発生している感染症です。

発症した犬だけでなく、猫、コウモリ、キツネ、アライグマなどにかまれてうつることがあり、発症したらまず助かりません。

現地では、素姓のわからない動物とは上手に距離をとって、むやみに近づいたり、さわったりしないようにしましょう。

現地で動物に咬まれた場合は、すぐに傷口を石鹸と水で洗い、医療機関を受診しましょう。感染の恐れのある場合は、帰国時に検疫所にご相談ください。



Dog etc.



in Foreign Countries

海外では、動物と距離をとろう。
Please Keep Your Distance.



夏休み 感染症

検索

夏休み期間中の海外感染症予防について、くわしくはこちらへ⇒
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel/2013summer.html

